

登録コード:MH406400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	ゼミナール【20M以降】 Graduation Study			
担当教員	務臺 均 他			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻/4年		不定期	集中・不定期
単位数、講義室	4 単位		遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		医学・保健学領域に関連する研究を行い、成果を口述発表し、卒業論文を作成する。	
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業			
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身につけている。		担当教員の指導下で研究計画の立案から論文完成までの一連の過程を実践することを通じ、作業療法学における課題を科学的・倫理的かつ創造的に探求し、生涯にわたり真理の追究や課題解決に取り組む姿勢を身につけている。	
	問題解決力 保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。		調査・実験研究により得られた多様なデータや情報を科学的かつ多角的に分析・評価し、その結果を科学的根拠に基づいた論理的な論文およびプレゼンテーションとしてまとめ、関係者に的確に伝えることができる。	
プロフェッショナリズム 保健・医療専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。		人を対象とする医学・保健学研究の実施にあたり、生命の尊厳と研究倫理を遵守して倫理審査等の適切な手続きを行うとともに、専門職として自律的かつ責任を持って研究活動を完遂することができる。		
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	3 年次の作業療法研究法で学習した研究計画の立案，倫理審査申請書の作成手順に沿って研究計画書を作成し調査・実験研究を実施する．研究成果を発表会にてプレゼンテーションし、卒業論文として完成させさせるまでの一連の過程を，担当教員の指導を受けながら実施する．人を対象とする研究では倫理審査申請書を作成し，医学部医倫理委員会または保健学科倫理審査会の承認を受ける． 本授業は，各指導担当教員の医科学研究または保健学研究の実践経験を活かして実施します．			
授業計画	概ね以下のタイムスケジュールで行う 3 年次（後期）担当教員によってスケジュールは異なる． 1）作業療法研究法の授業にて概要説明 2）担当教員の決定・教員との打合せ 3）文献調査、研究計画・倫理審査申請書の作成 4）倫理審査、プレ実験・プレ調査の実施 4 年次（後期） 10月 データ収集 11月 データ集計・解析 12月 卒業研究発表会（12月下旬） 1月 研究論文作成・論文提出（論文集の作成），授業アンケートを実施			
授業の進め方	ゼミナールは時間割の通りの時間で実施されるとは限りませんので，各担当教員と打ち合わせの上進めるてください． 論文提出後に，授業アンケートを実施する．			
テキスト，教材，参考書	指定しない．担当教員と相談			
成績評価の方法	卒業研究発表会での口頭発表60％，卒業論文40％とし，成績を評価します．評価は卒業研究発表会および卒業論文の提出後に担当教員が行い当該科目の成績とします．			
成績評価の基準	口頭発表と卒業論文による成績判定基準は，以下の通りとします． 90-100点：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可 研究疑問を解決するための基礎情報（サンプルデータ）を収集・整理し，系統的に分析し，発表できれば「水準にある（可）」，解釈に偏りがなく整合性のある考察が述べられれば「やや上にある（良）」，探求して建設的な考察ができれば「かなり上にある（優）」，他者の発表に対しても客観的で建設的な質疑ができれば「卓越している（秀）」．以上に卒業論文の出来栄を加味する．			
事前事後学習の内容	毎回のゼミの時に指定する． 本授業の単位修得には180時間の学習が必要です．			
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	担当教員とのコミュニケーションを十分に図り，早めに文献調査，計画書作成等に取りかかる．作業療法との関連も大切ではあるが，まずは，基本となる研究の手続きを学ぶこと			

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	を重視する． 相談は随時対応するが，原則事前にアポイントメントをとってから行ってください．
---------------------------	--